

トットちゃんとカマタ先生の

ずっとやkusく

黒柳徹子

鎌田 實



トットちゃんとカマタ先生の
ずっとやぐろ

柳徹子・鎌田實



ットちゃんとカマタ先生の ずつとやくそく

二〇〇七年七月三十一日 初版第一刷発行

著者 黒柳徹子・鎌田 實
くろやなぎ てつこ かまた みのる

発行者 新田光敏

発行所 ソフトバンククリエティブ株式会社

〒一〇七—〇〇五二 東京都港区赤坂四—十三—十三

営業：〇三（五五四九）一二〇一

挿画 いわさきちひろ

装幀 和田 誠

構成 高橋 姿子

協力 いわさきちひろ美術館

本文デザイン 渡辺 縁・湯川安芸子

校正 聚珍社

組版 クニメディア株式会社

印刷・製本 図書印刷株式会社

JASRAC E0707615-701

落丁本、乱丁本は小社営業部にてお取り替えいたします。定価はカバーに記載されており、本書の一部または全部を無断で複製・転載することは、法律で定められた場合を除き、著作権の侵害になります。本書の内容に関するご質問等は、小社学芸書籍編集部まで必ず書面にてご連絡いただきますようお願い致します。

©2007 Tetsuko Kuroyanagi ©2007 Minoru Kamata Printed in Japan

ISBN 978-4-7973-4215-4

目

次

はじめに …… 8

第一章 みらい …… 12

患者にやさしいお医者さん …… 14

イラクの子どもたち …… 17

子どもを裏切つてはいけない …… 22

—— カマタ先生のひとりごと「イラクで考えたこと」 …… 29

第二章 あこがれ …… 40

世界を知りたい …… 42

人と比べない …… 48

気持ちを表すのが大事 …… 53

—— トットちゃんのひとりごと「偶然が左右する人生」 …… 61

第三章 だきしめる …… 68

トットちゃんはLD? …… 70

第四章

おとな …… 92

ほんとうはいい子 …… 75

子どもはお母さんが好き …… 82

——カマタ先生のひとりごと「共感する力が大事」 …… 88

パパは怖かった …… 94

お父さんなんか嫌い …… 99

子どもには時間をかけたい …… 104

子どもはわかっていて …… 110

——トットちゃんのひとりごと「主婦ほどたいへんな職業はない」 …… 114

第五章

かぞく …… 122

チヨツちゃんのこと …… 124

岩次郎さんのこと …… 132

——カマタ先生のひとりごと「家族の秘密」 …… 141

第六章

いっしょ …… 146

ボラソティア …… 148

第七章

いのち …… 170

- だれのため、ではなく …… 152
二十四ドルの貸し …… 156
放っておけない …… 160
—— トットちゃんのひとりと「一緒だから楽しい」 …… 163

第八章

げんき …… 198

- 毎日歩く …… 200
死ぬまで病気をしない方法 …… 205
—— トットちゃんのひとりと「ニューヨークの一年」 …… 216
—— カマタ先生のひとりと「いのちの授業」 …… 192
生き抜く子どもたち …… 187
生や死を見つめる …… 182
テレビが三台あっても …… 177
コートジボアールで …… 172

第九章

ごはん …… 224

みんなで食卓を囲む幸せ …… 226

青い鳥 …… 231

朝ごはん …… 234

食べること、学ぶこと …… 242

——カマタ先生のひとりと「心と体のつながりで守られるいのち」 …… 246

第十章

やくそく …… 252

ほんとうの幸せ …… 254

関心を持つ、行動する …… 260

——トットちゃんのひとりと「ひとりの子どもを救うために」 …… 266

おわりに …… 272

装 幀 和田 誠

イラスト いわさきちひろ

構 成 高橋 姿子

トットちゃんとカマタ先生の

ずっとやくそく

はじめに

鎌田 實

トットちゃんには大切な約束がありました。

トットちゃんが通った小学校の先生になる、と。

「きみは、ほんとうは、いい子なんだよ」とトットちゃんにいつも言ってくれた、大好きな先生との約束でした。けれどトットちゃんは、学校の先生にはなれませんでした。戦争で学校が焼けてしまったからです。でも約束はいまでも続いています。だから、トットちゃんは子どもたちのために役に立ちたいと思っています。

ぼくは十八歳のとき、岩次郎という父と約束をしました。

「貧しい人や弱い人のことを忘れるな」と。

ぼくは「守る」と約束をしました。父は亡くなりましたが、岩次郎と約束したことはいまでもずっと続いています。

黒柳徹子さんとぼく、トットちゃんとカマタ先生は、ずっと昔の約束を、ふたりで協力して実現させようと、本を作ることにしました。

子どもたちに生きるヒントになる本を作りたいと思いました。

学校に行けない子やいじめにあっている子、病気があったり、障害があったりする子が読んで、勇気が出てくるような本にしたいと思いました。

この本の中で、トットちゃんは「私はLD（学習障害）と思われてもいい」と明るく言っています。

学校や、会社や、地域で、おかしい子、へんな人と言われている人は、この本を読むと元氣になれるかもしれません。ちょっと変わっているということは、生き方を少し変えれば、その変わっているところが才能になる可能性があるのです。

学校を卒業して仕事を始めたころのトットちゃんのエピソードには、きっと笑い転げるでしょう。一生懸命に力いっぱいだけれど、まわりから見ればドジなことをし続けるトットちゃんの姿には、多くの方が、ほっとされるのではないかと思います。

ほくたちは夢を語り合いました。トットちゃんの小さいころの夢はスパイになることでした。おしゃべりなスパイなんてすてきだなと思いました。徹子さんと何回かお会いするうちに、この人はもしかしたら、ほんとうにスパイなのかもしれないと思ったのです。

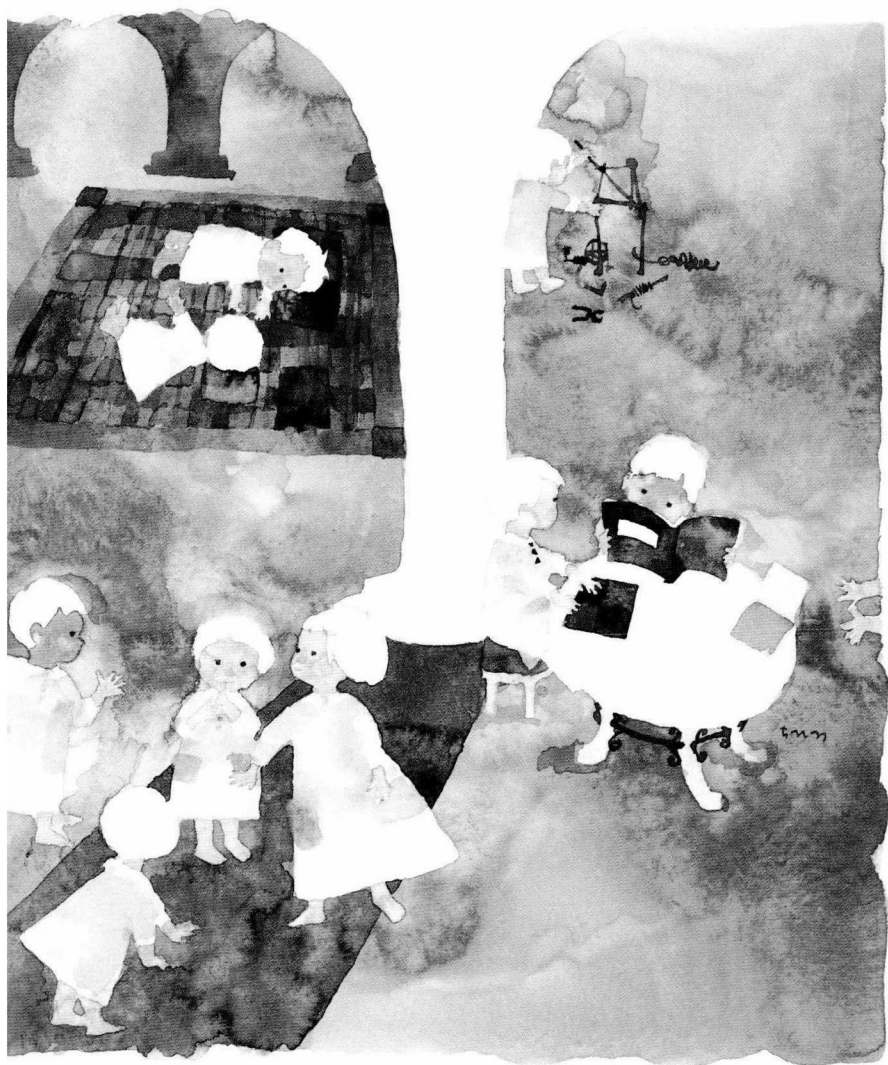
どこか知らない惑星から送り込まれたおしゃべりなスパイ。……ところが、おかしい地球が好きになって、地球を少しでもよくしようと思って、自分がスパイであることを忘れて、世界中をよくしよう、日本を明るくしよう、そして子どもたちに元氣を与えようと思って、あの、ふしぎな玉ネギ型の髪型で魔女のような服を着て走り回っているおしゃべりなスパイ。

子育てに苦勞しているお母さんに、子育てのヒントになるような本を作りたいと思いました。子どもが大きくなって、近々おじいちゃんやおばあちゃんになるだろう若いおじいちゃんやおばあちゃんにも読んでもらえる本ができたらいいなあと思って作りました。

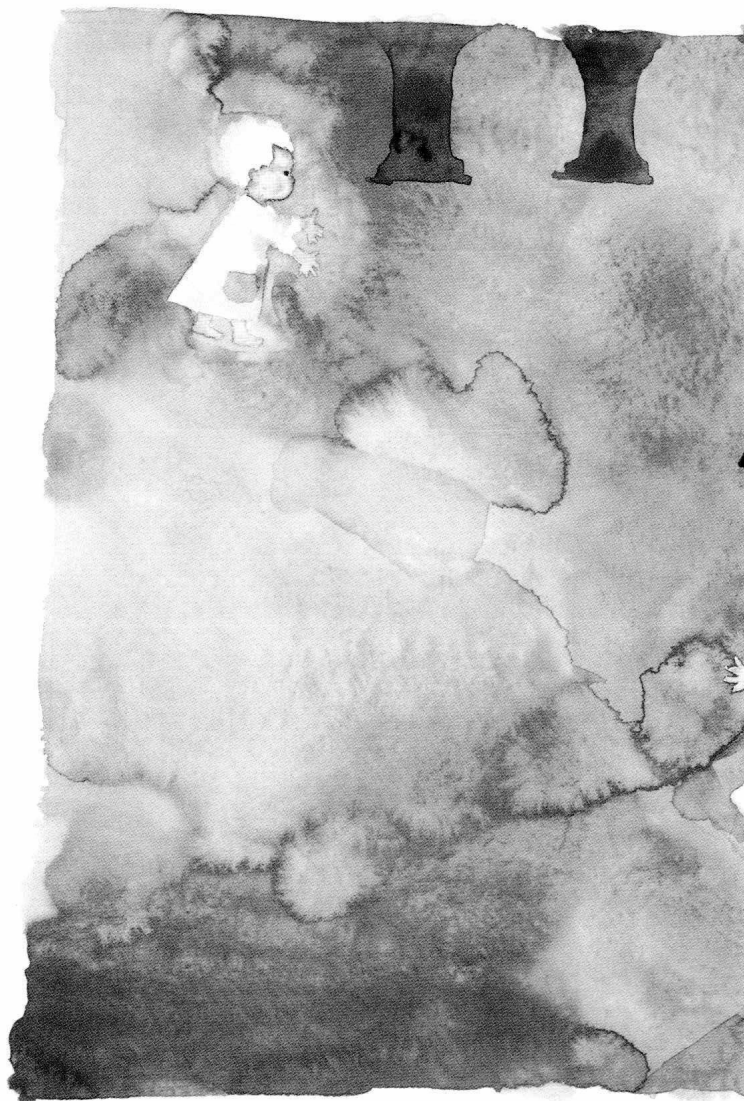
小学生からおとなまで、人間にとって何が大事なのかがわかる本を作りたいと思いました。

それはそれは楽しい本作りでした。笑いすぎて涙が出ました。ジーンとして涙が出ました。ジーンとしてほくがまぶたを拭いていると、トットちゃんは鼻をくしゅんとさせています。

生きるってすばらしいと感じられるような本ができたと思います。
はじまりはじまり。



みらい



患者にやさしいお医者さん

カマタ先生 お久しぶりです。二〇〇〇年に、「徹子の部屋」に呼んでいただいて、お話しして以来ですね。

トットちゃん 「日本一、患者にやさしい病院を作っている先生がいらっしゃる」というので、「徹子の部屋」でインタビューさせていただきました。

カマタ 病院のこと、患者さんのことを徹子さんの番組でお話しして、大勢のみなさんに関心を持っていただけた。それから、いろいろなところと呼ばれるようになって、いのちの大切さについて話す機会が増えたんです。ぼくの人生、変わりました。

トット 私はずいぶん前から、新聞や雑誌などで先生のことを存じ上げていました。実は私は、父方も母方も祖父が医者ということもあって、患者さんのことを考えて医学をまっとうするお仕事をととても尊敬しています。ですから、先生のお仕事をことをぜひうかがって見たかったです。